

北海道港湾空港建設協会

会報

令和7年9月

北のみなと

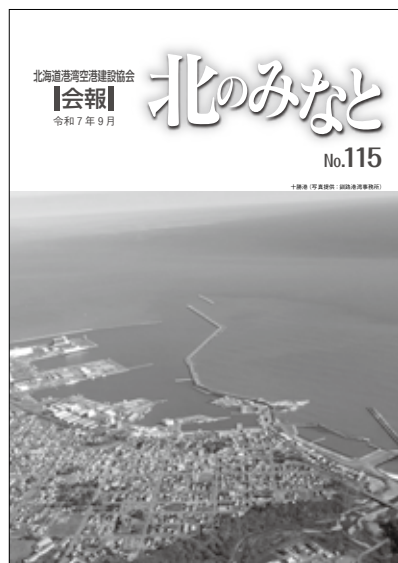
No.115

十勝港（写真提供：釧路港湾事務所）



北のみなと

北海道港湾空港建設協会 会報 2025.9. No.115



十勝港

十勝港は、首都圏と北海道とを結ぶ海路の最短距離に位置し、その背後圏には帯広を中心とした日本有数の食糧基地「十勝」を有しています。

十勝港の整備は昭和4年広尾港修築工事に着手したことからはじまり、昭和26年避難港の指定、昭和34年地方港湾の指定、昭和40年広尾港を十勝港に改称、昭和45年重要港湾に指定されています。

令和6年における取扱貨物量は外国貨物39万トン、国内貨物101万トンであり、約7割を農業関連品が占めており、背後地域の基幹産業である農業を支える流通拠点としての役割を担っています。

平成23年には第4ふ頭に海外から輸入したトウモロコシ等を原料とする道内最大級の飼料コンビナートが操業を開始し、年間50万トンを上回る飼料生産を行っています。輸入原材料に伴い、令和6年の貿易額は167億円と14年連続で100億円を突破しました。

一方、国土交通省は2030年農林水産物・食品の輸出額を5兆円とする政府目標達成のため、本年3月、十勝港を「産直港湾」に認定し、輸出促進の取組を行うことによって輸出額を約4.5倍（令和6年3.6億円。令和15年目標16.3億円）とする目標を立てています。

— 目 次 —

Report

日本港湾空港建設協会連合会 第42回 通常総会開催 1

受賞

令和7年「海の日」海事関係功労者大臣表彰 2

令和7年度 漁港漁場関係事業優良請負者表彰 4

令和7年度 北海道開発局優良工事の表彰 5

令和7年「海の日」港湾空港関係功労者局長表彰 7

北海道開発局 i-Con奨励賞2025 8

令和7年度 関係協会表彰 12

・(公社)日本港湾空港建設協会連合会会長賞表彰 港湾功労者賞

・(公社)日本港湾協会 港湾功労者表彰

・(一社)日本海上起重技術協会 会長表彰

・(一社)全日本漁港建設協会表彰

・全国浚渫業協会 港湾功労者 表彰

・(一社)日本潜水協会 優良会員表彰

令和6年度 全建賞 21

・小樽港中央地区第3号ふ頭クルーズ船岸壁等整備事業

各種記事

我が社の安全衛生管理（白鳥建設工業㈱） 22

私の趣味（村井建設㈱ 代表取締役社長 村井剛大） 24

新造船の紹介（株式会社不動テトラ） 26

Information

事務局だより・業界だより・広報委員会だより 28

日本港湾空港建設協会連合会 第42回 通常総会開催

日本港湾空港建設協会連合会は令和7年5月14日、第42回通常総会を開催し、令和7年度事業計画等が承認されました。

令和7年度事業計画

1. 会報の発行

港湾空港関係予算・技術開発等、港湾空港関係の諸情報並びに会員の意見・要望等を掲載した会報を4回／年発行し、会員相互の情報交換を行う。

2. 研修講習会等の開催

港湾空港建設業の社会的地位の確立と技術の開発向上を目的とした講習会及び見学会を実施する。

講習会は、中堅技術者を対象に6月には高知県高知市で、また、9月には石川県金沢市において開催し、さらに10月には経営者及び幹部社員を対象に経営者セミナーを東京都において開催する。

「独占禁止法とコンプライアンスに関する講習会」を一般社団法人日本埋立浚渫協会と共催する。

3. 要望及び意見等の発信

- ①港湾空港関係予算及び港湾空港関係事業に係る諸課題について、関係方面及び関係機関に対して要望又は意見交換を実施する。
- ②港湾空港建設に係る当面の諸課題に関する要望や意見交換を各地区連合会と共同し、関係機関に対して実施する。
- ③都道府県協会が行う港湾空港建設に係る当面の諸課題に関する、関係機関との要望や意見交換を支援する。

4. 調査研究

- ①港湾空港建設業の発展に関する調査研究、資料の収集等を行う。
- ②地区連合会技術委員会の活動経費に対して補助を行う。
- ③契約・設計・積算に関する調査研究。
- ④労働・安全・税制に関する調査研究。
- ⑤建設行政に係わる研究調査

5. 港湾及び空港の整備・振興に関する広報・啓発活動

- ①港湾及び空港の整備・振興に関し、広く社会一般に理解を得るための広報・啓発活動を行う。
- ②港湾及び空港の整備・振興の必要性を広く国政の場に反映するため、関係国会議員等の理解を得るための活動を展開する。



令和7年 「海の日」 海事関係功労者大臣表彰

国土交通省は毎年、「海の日」に、多年にわたり海事関係事業等に貢献された方々に対して表彰を行っております。

令和7年「海の日」にあたり、当協会関係では株式会社中田組 代表取締役 中田伸也氏が多年にわたる港湾建設事業の振興に努め、斯界の発展に寄与した功績により海事関係功労者大臣表彰を受賞し、7月24日東京都内において、表彰式が行われました。

また、「海をきれいにするための一般協力者」として若旺会（会長（株）吉本組会長 吉本正則氏）が岩内港及びその周辺において、多年にわたり清掃活動を行い、海辺の環境美化に貢献したことから同賞を受賞し、7月28日札幌市内において、伝達式が行われました。

【港湾関係】

株式会社 中田組 代表取締役

中田 伸也 氏

生年月：昭和34年3月

略歴：昭和56年4月（株）田中組 入社
昭和63年3月（株）中田組 入社 工事部主任
平成6年5月 同社 専務取締役
平成8年5月 同社 代表取締役社長
令和5年5月 同社 代表取締役
現在に至る



【海をきれいにするための一般協力者】

わか おう かい 若旺会（岩内町）

岩内港及びその周辺において、平成14年から清掃活動を実施しており、本奉仕活動は海辺の環境美化保全及び利用者の環境意識向上に貢献していることから表彰されました。



伝達式の様子



清掃状況（北海道開発局HPより）

$R_{H^{1/3}/H_0}'$



b/H_0'

令和7年度 漁港漁場関係事業優良請負者 表彰

令和7年度 漁港漁場関係事業優良請負者表彰として渡辺建設工業株式会社及び藤建設株式会社が農林水産大臣表彰、また、北興工業株式会社及び株式会社ササキが水産庁長官表彰を受賞しました。

本表彰は漁港漁場関係事業への理解を深めるとともに、漁港漁場建設技術の向上を図り、漁港漁場関係事業の円滑な実施に資することを目的として、他の模範に足る功績を残した請負者を表彰するものです。

表彰式は5月15日水産庁において執り行われ、森水産庁長官より表彰状が授与されました。

【農林水産大臣表彰】



渡辺建設工業株式会社
渡部 仁志 氏
代表取締役社長

会社概要

本社所在地	根室市
創業	昭和32年
設立	昭和32年
資本金	7,800万円



藤建設株式会社
藤田 隆明 氏
代表取締役社長

会社概要

本社所在地	稚内市
創業	昭和26年
設立	昭和27年
資本金	10,000万円

【水産庁長官表彰】



北興工業株式会社
宮崎 健吾 氏
代表取締役社長

会社概要

本社所在地	室蘭市
創業	昭和15年
設立	昭和19年
資本金	4,000万円



株式会社 ササキ
佐々木 正和 氏
代表取締役社長

会社概要

本社所在地	稚内市
創業	昭和28年
設立	昭和37年
資本金	5,000万円

令和7年度 北海道開発局 優良工事の表彰

北海道開発局は工事等に係る技術の向上を目的として、前年度に完成した工事及び完了した業務の中から、優秀な成果を収めた企業及び技術者を表彰しております。

今年度は令和6年度に完成した工事1,318件中から局長表彰29件（30社）、各開発建設部長表彰74件（78社）が選定され、工事を実施した企業と、その工事に携わった技術者が表彰されました。

港湾・空港・漁港部門における局長表彰は、①葵建設(株)が施工した「羅臼漁港突堤建設その他工事」②堀松・ハラダ経常JVが施工した「天塩港航路浚渫その他工事」の2件（3社）が受賞しました。

開発建設部長表彰は、小樽（近藤工業(株)）、函館（(株)菅原組、(株)高木組）、室蘭（道南綜合土建(株)）、釧路（萩原建設工業(株)）、稚内（藤建設(株)）及び札幌（勇建設(株)）が受賞しました。

なお、局長表彰式は7月29日開催されました。また、開発建設部長表彰式は各開発建設部において開催されました。

—港湾・空港・漁港部門における受賞工事— 【北海道開発局長表彰】

○工事名：羅臼漁港突堤建設その他工事

発注者：釧路開発建設部

施工者：葵建設(株)

技術者：



佐藤 祐介氏



工事状況写真

【表彰理由】

船揚場の補修にあたっては施工期間が1～3月の厳寒期であるとともに、多くの漁船が上架し、作業ヤードが制約を受ける現場条件の中で建設機械の可動域を確保するための重機足場及び波浪・流水等の影響による施工不能を回避するための仮設防護壁の設置等の創意工夫により安全な作業環境の確保に努めました。また、コンクリート取り壊し作業においては飛散防止のため、ブレーカーにサクショホースを取り付けることにより環境対策に取り組みました。

一方、突堤の施工にあたっては型枠と支保を一体化した上部コンクリート型枠を採用することにより施工効率化及び安全性向上を図りました。

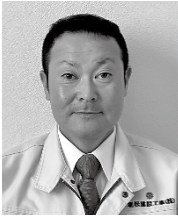
以上、他の工事の模範となることから表彰されたものです。

○工事名：天塩港航路浚渫その他工事

発注者：留萌開発建設部

施工者：堀松・ハラダ経常JV

技術者：



監理技術者
堀松建設工業(株)
小川 泰弘氏



主任技術者
ハラダ工業(株)
三上 晃太氏



ー 6 m航路浚渫



西外防波堤ケーソン据付

〔表彰理由〕

当該工事は、波浪による不稼働状況の発生や貨物船の行き交う主要航路での作業となるための確な施工監理が伴う困難な海上工事でした。航路浚渫では、浚渫作業の出来形を可視化（3次元化）することで航路の暫定利用に対する利用者の理解を深めました。また、冬期救助訓練の積極的な実施により、厳寒期における海中転落防止など、厳しい現場条件下における安全対策を徹底しました。

環境対策では、浚渫土砂の陸揚げ時における土砂落下防止のため、土砂落下防止板を設置し環境保全に努めました。加えて、令和6年8月に天塩港で砂運搬船の座礁事故が発生した際には、本工事の作業船で座礁船の救出活動に協力し、港湾利用者からの工事への信頼確保に寄与するなど、他の模範となる工事でした。

【各開発建設部長表彰】

○工事名：小樽港 北防波堤建設その他工事

発注者：小樽開発建設部

施工者：近藤工業(株)

技術者：藤原 真一氏

○工事名：函館港西防波堤改良工事

発注者：函館開発建設部

施工者：(株)菅原組

技術者：澤谷 高広氏

○工事名：森港道路建設工事

発注者：函館開発建設部

施工者：(株)高木組

技術者：大森 寛氏

○工事名：苫小牧港西港区防波堤(東)改良工事

発注者：室蘭開発建設部

施工者：道南綜合土建(株)

技術者：三谷 高司氏

○工事名：十勝港外1港航路・泊地浚渫工事

発注者：釧路開発建設部

施工者：萩原建設工業(株)

技術者：佐々木 修氏

○工事名：礼文西漁港西防波堤改良その他工事

発注者：稚内開発建設部

施工者：藤建設(株)

技術者：岡本 俊輔氏

○工事名：新千歳空港美沢川函渠耐震補強
その他工事

発注者：札幌開発建設部

施工者：勇建設(株)

技術者：井田 直人氏

令和7年 「海の日」 港湾空港関係功労者局長表彰

北海道開発局は7月22日、札幌第1合同庁舎において、令和7年「港湾空港関係功労者表彰」の表彰式を行いました。
本表彰は、港湾空港整備事業の推進を目的として、港湾空港関係の業務等に関し、多大な功労があった方々を対象に実施しています。

当協会関係では港湾空港建設事業の経営責任者として、港湾空港工事の推進と発展に尽力された岩倉建設株式会社(札幌市) 代表取締役社長 鈴木泰至氏が受賞されました。

岩倉建設株式会社 代表取締役社長

鈴木 泰至 氏

生年月：昭和29年1月

略歴：	昭和53年4月	岩倉組土建株式会社	入社
	平成21年11月	岩倉建設株式会社	取締役土木部技術部長
	平成23年4月	同社	常務取締役土木総括
	平成28年11月	同社	専務取締役
	平成30年11月	同社	代表取締役社長
		現在に至る	



北海道開発局 i-Con奨励賞2025

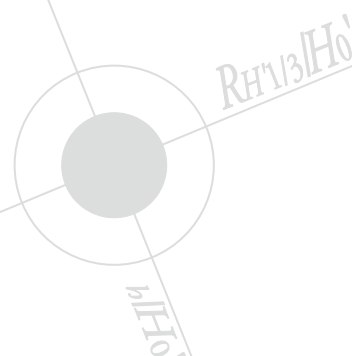
北海道開発局においては北海道におけるインフラDX・i-Constructionの普及促進を図ることなどを目的として、前年度に完成した工事及び完了した業務の中から、建設現場における生産性向上に資する優れた取組を行った企業を表彰しております。

今年度の表彰は令和6年度に完成した工事及び業務の中から「北海道開発局 i-Con奨励賞2025」が表彰されました。

工事については28件表彰され、港湾部門では2件受賞しました。

表彰式は7月30日北海道開発局において行われました。

以下に各受賞工事の概要を掲載致します。



北海道開発局 i-Con奨励賞2025 受賞

株式会社 吉本組

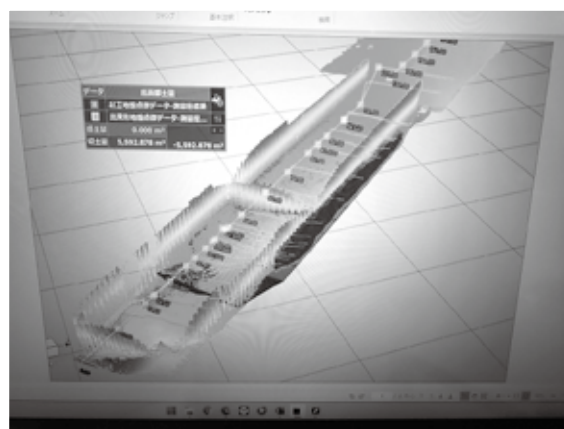
石狩湾新港－12m岸壁工事がi-Con奨励賞2025を受賞しました。

本工事は先行工事で打設した二重鋼管矢板間の泥質土を掘削し、タイ材取付後、中詰（スラグ）を投入する工事です。サケ漁や本工事の前後工事の制約により、本工事の遅延が許されない条件下で、最新のICT技術や3Dモデルを活用して、一連の作業手順の可視化や高精度な出来型管理による施工の効率化や工程の短縮を図り、工期内に工事を完了しました。

施工にあたり、マルチビーム起工測量により3Dモデルを作成し、床掘から中詰完了までの一連をデータ管理し、成果とりまとめ時間などの削減にも寄与しました。3Dモデルを活用した施工ステップ図を作成し、施工方法や作業の安全性の確認、作業手順の効率化による生産性向上にも貢献しました。グラブ浚渫船施工管理システムにより、可視化したモニターを見ながら高精度な出来型管理が可能となり、掘り残しや手戻りが削減され、約2割の工期短縮を図ることができました。



【マルチビーム起工測量】



【3Dモデル確認状況】



【三次元モデル使用による施工手順確認】



【グラブ浚渫船施工管理システム】

北海道開発局 i-Con奨励賞2025 受賞

三協建設株式会社

本工事は苫前漁港－4.5m航路浚渫と東防波堤の基礎工、本体工及び上部工の整備を行う工事で－4.5m航路浚渫（ $A=8,035\text{m}^2$ ）において、水深測量にマルチビーム測量を活用し、航路水深の可視化を図りました。

また、現地測量と解析結果のとりまとめを簡素化、3Dでの測量結果を生かし、航路水深状況を立体的に可視化することによりわかりやすい航路水深資料を漁港利用者へ提供、海難事故防止に役立てていただきました。

さらに、マルチビーム測量結果（点群データ）を浚渫船のシステムに取り込み、GNSS（人工衛星を活用した測位システム）を活用して浚渫船位置の誘導をシステムで管理し、施工位置の特定、施工水深確認の省人・省力化を図りました。

これにより、浚渫箇所の決定や施工中における水深確認がリアルタイムで把握することができ、出来形管理の効率化、作業性・安全性の向上を図ることができました。



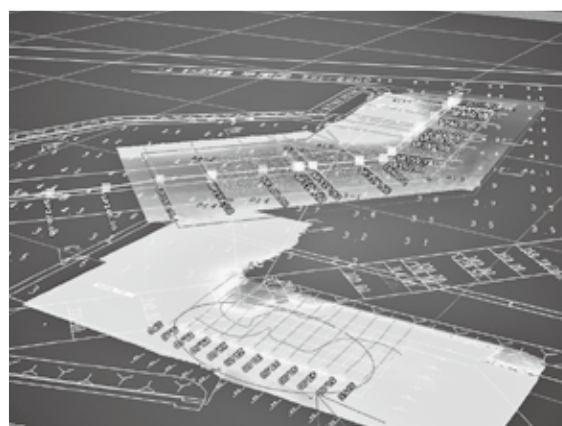
【浚渫状況】



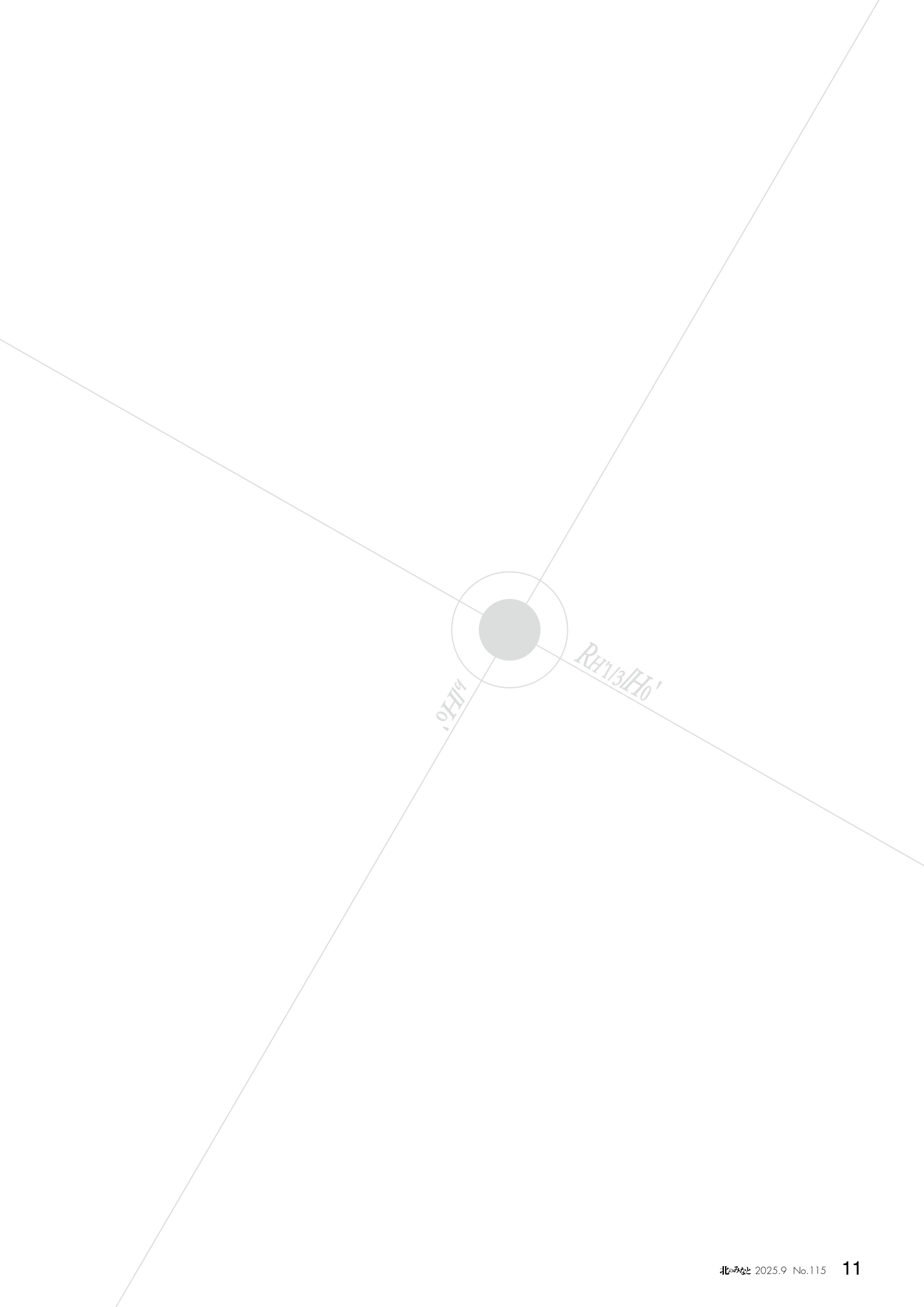
【GNSSデータの活用状況】



【施工位置、水深の確認状況】



【3D可視化】



$H1/4$

$RH1/3/H0'$

令和7年度 (公社)日本港湾空港建設協会連合会 会長賞表彰 港湾功労者賞

北海道港湾空港建設協会から11名受賞

経営合理化、工費適正化、技術向上、作業効率化及び従業員の労務・厚生改善等により協会発展に尽くされた功績により、日本港湾空港建設協会連合会第42回通常総会において、当協会から以下の方々が会長賞を受賞されました。

受賞されました皆様には心からお慶び申し上げます。

代表者表彰



工藤喜代子 氏

生年月 昭和27年11月

(株)藤共工業 代表取締役

略 歴

平成15年7月4日 (株)藤共工業 入社
代表取締役就任
現在に至る



畑中 修平 氏

生年月 昭和35年7月

萌州建設(株) 代表取締役社長

略 歴

平成7年4月 入社
平成16年10月 萌州建設(株) 代表取締役副社長
平成18年9月 萌州建設(株) 代表取締役社長
現在に至る

従業員表彰（順不同）



石田 彰一 氏

生年月 昭和34年2月

(株)山田組
土木事業部次長

略 歴

昭和56年4月 (株)山田組 入社
平成4年4月 同社 工事主任
令和5年4月 同社 土木事業部次長
現在に至る



高松 等 氏

生年月 昭和35年8月

近藤工業(株)
土木部船舶機械課担当部長

略 歴

昭和56年4月 近藤工業(株) 入社
令和6年5月 同社 土木部船舶機械課
担当部長
現在に至る



高橋 裕司 氏

生年月 昭和36年3月

(株)富士サルベージ 技術顧問

略 歴

平成3年 (株)富士サルベージ入社
令和4年 同社 取締役 工事部長
令和7年 同社 技術顧問
現在に至る



川合 邦広 氏

生年月 昭和39年4月

(株)西村組 取締役 執行役員
営業・船舶機材部担当

略 歴

昭和63年 (株)西村組 入社
令和2年 同社 取締役 執行役員 営業・船舶
機材部担当
現在に至る



外尾賢一郎 氏

生年月 昭和45年8月

萩原建設工業(株) 工事担当課長

略 歴

平成元年 萩原建設工業(株) 入社
平成29年 同社 工事担当課長
現在に至る



稗田 哲也 氏

生年月 昭和46年8月

機械開発北旺(株)
工事部次長

略 歴

平成7年 北海道機械開発(株) 入社
令和4年 機械開発北旺(株) 工事部次長
現在に至る



石戸 雅洋 氏

生年月 昭和47年11月

(株)菅原組 工事本部 工務部
船舶・重機課員

略 歴

平成18年5月 (株)菅原組 入社
平成28年4月 工事本部工務部重機係長
令和3年9月 起重機船 第十すがわら号 乗船
現在に至る



及川 俊博 氏

生年月 昭和47年12月

(株)吉本組 事業部 次長

略 歴

平成3年4月 (株)吉本組 入社
令和5年4月 同社 事業部 次長
現在に至る



おさだ 長田 潤 氏

生年月 昭和50年2月

(株)森川組
土木部工事次長

略 歴

平成7年 (株)森川組 入社
令和5年 同社 土木部工事次長
現在に至る

$RH^{1/3}/H_0'$

b/H_0'

令和7年度 (公社)日本港湾協会 港湾功労者表彰

永年にわたり港湾に関する職務に従事し、功績が特に顕著であること、港湾の管理運営振興、計画設計、施工の各部門に関して研究、実施等に特に顕著な成果をあげ、他の模範となる方を対象にしている令和7年度（公社）日本港湾協会 港湾功労者表彰を以下の方々が受賞されました。

受賞されました皆様には心からお慶び申し上げます。

北海道港湾協会推薦（順不同）



伊藤 徹也 氏

生年月 昭和38年 9 月

藤建設(株) 技術顧問

略 歴

昭和59年 北海道開発局
令和 5 年 港湾空港部港湾行政課長
令和 6 年 藤建設(株) 技術顧問
現在に至る



斉藤 敦志 氏

生年月 昭和38年12月

(一財)港湾空港総合技術センター
北海道支部 副支部長

略 歴

昭和61年 北海道開発局
令和 4 年 小樽開発建設部 次長
令和 6 年 (一財) 港湾空港総合技術センター
北海道支部 副支部長
現在に至る



日色 徳彦 氏

生年月 昭和38年 4 月

(一社) 寒地港湾空港技術研究
センター 第1 調査研究部長

略 歴

昭和63年 北海道開発局
令和 5 年 函館開発建設部 次長
令和 6 年 (一社) 寒地港湾空港技術研究センター
第2 調査研究部長
令和 7 年 (一社) 寒地港湾空港技術研究センター
第1 調査研究部長
現在に至る



増田 亨 氏

生年月 昭和39年 2 月

(一社) 寒地港湾空港技術研究
センター 主任調査役

略 歴

昭和59年 北海道開発局
令和 5 年 留萌開発建設部 留萌港湾事務所長
令和 6 年 (一社) 寒地港湾空港技術研究センター
調査役
現在に至る



松尾 義雄 氏

生年月 昭和39年3月

(一財)港湾空港総合技術センター
北海道支部 事業第一部長

略 歴

昭和57年 北海道開発局
令和3年 稚内開発建設部 稚内港湾事務所長
令和6年 (一財) 港湾空港総合技術センター
北海道支部 事業第一部長
現在に至る



佐々木 淳 氏

生年月 昭和38年8月

(一財)港湾空港総合技術センター
北海道支部 事業第二部 調査役

略 歴

昭和62年 北海道開発局
令和3年 釧路開発建設部 釧路港湾事務所 副所長
令和6年 (一財) 港湾空港総合技術センター
北海道支部 事業第二部 調査役
現在に至る



山田 博人 氏

生年月 昭和38年10月

村井建設(株) 執行役員技術顧問

略 歴

昭和61年 北海道開発局
令和5年 室蘭開発建設部 室蘭港湾事務所 副所長
令和6年 村井建設(株) 執行役員技術顧問
現在に至る



菅原 健一 氏

生年月 昭和39年1月

(一財)港湾空港総合技術センター
北海道支部 事業第二部 調査役

略 歴

昭和61年 北海道開発局
令和4年 網走開発建設部 網走港湾事務所 副所長
令和6年 (一財) 港湾空港総合技術センター
北海道支部 事業第二部 調査役
現在に至る

RH_{1/3}HO'

HO'

令和7年度 (一社)日本海上起重技術協会 会長表彰

(一社)日本海上起重技術協会は令和7年5月12日 第39回通常総会終了後、功労者表彰式を行いました。
今年度、道内から藤田会長ほか4名が表彰されました。受賞されました皆様には心からお慶び申し上げます。

【特別功労者（退任役員）】



藤田 幸洋 氏

生年月 昭和30年3月

藤建設株式会社
代表取締役会長

略 歴

昭和52年4月 東亜建設株式会社 入社
昭和55年5月 藤建設株式会社 入社
令和元年8月 代表取締役会長 就任
現在に至る

【特別功労者（専門委員会委員）】



三原 一憲 氏

生年月 昭和28年2月

藤建設株式会社札幌支店
営業部参与

略 歴

平成25年3月 北海道開発局留萌開発建設部 次長 退任
平成25年7月 (一社)寒地港湾技術研究センター
平成27年7月 同センター退職
平成27年8月 藤建設株式会社札幌支店 入社
令和5年 札幌支店 営業部参与 就任
現在に至る

【業務精励功労者】



水澤 卓也 氏

生年月 昭和47年11月

白鳥建設工業株式会社
工事部 次長

略 歴

平成7年4月 白鳥建設工業株式会社 入社
平成22年4月 起重機船 暑寒3号乗船
令和3年4月 白鳥建設工業株式会社 工事部 次長
現在に至る



福原 昭光 氏

生年月 昭和39年9月

株式会社菅原組
工事本部工務部船舶・重機課員

略 歴

平成23年5月 株式会社菅原組 入社
平成27年9月 起重機船第八すがわら号 乗船
平成28年4月 工事本部工務部船舶係長及び起重機船
第八すがわら号船団長
平成29年11月 起重機船第七すがわら号船団長
令和6年3月 起重機船第十八すがわら号 乗船
現在に至る



小野 浪夫 氏

生年月 昭和38年6月

株式会社 濱谷建設

略 歴

昭和61年5月 株式会社濱谷建設 入社
昭和61年5月 起重機船 協和8号乗船
平成9年7月 起重機船 翔栄号 船団長
令和3年4月 起重機船 翔洋号 船団長
現在に至る

RH13/Ho'

b/Ho'

第43回 （一社）全日本漁港建設協会表彰

全日本漁港建設協会表彰は漁港建設業界、漁港漁場建設事業等の発展のために多大の貢献をされた方にその業績を称え、広く顕彰するもので、会員の代表者、従業員等が受賞対象となっています。

今般、優良従業員として、業務に精励し、成績顕著なものとして以下の方が表彰されました。

受賞お慶び申し上げます。

【優良従業員】



東 昭浩 氏

生年月 昭和41年 9 月

(株)菅原組 工事本部工事部次長
兼工事課工事長兼業務管理課課長

略 歴

昭和62年 4 月 株式会社菅原組 入社
令和 5 年 6 月 工事本部工事部次長兼工事
課工事長兼業務管理課課長
現在に至る



山崎 勲 氏

生年月 昭和35年 8 月

藤建設株式会社 土木部
土木次長

略 歴

昭和54年 藤建設株式会社 入社
令和 7 年 土木部 土木次長 就任
現在に至る

$R_{H^{1/3}/H_0'}$



b/H_0'

令和7年度 全国浚渫業協会 港湾功労者表彰

全国浚渫業協会は港湾・漁港・空港・河川・湖沼におけるグラブ式浚渫工事を担っている建設業者により構成されています。
今年度、港湾功労者として道内から1名表彰されました。



合田 幸司 氏

生年月 昭和43年 6 月

(株)西村組 工務部工務課
課長補佐

略 歴

平成 3 年 (株)西村組 入社

平成31年 同社 工務部工務課 課長補佐

現在に至る

$RH^{1/3}/H_0'$

b/H_0'

令和7年度 (一社)日本潜水協会 優良会員表彰

(一社)日本潜水協会は潜水事業の振興、潜水作業技術の向上ならびに災害の防止及び潜水士の育成等、潜水事業の発展に寄与した者を対象として優良会員表彰を行っています。今年度、長年にわたり、港湾潜水技士認定試験の試験員及び水中部施工状況確認業務に従事され、潜水事業の発展に寄与されたことから下記の方が受賞されました。



神 晃 氏

生年月 昭和55年12月

白鳥建設工業(株) 工事部課長

略 歴

平成12年4月 白鳥建設工業株式会社 入社
 平成13年4月 潜水士免許取得
 平成28年11月 1級建設機械施工技士免許取得
 平成30年2月 1級土木施工管理技士免許取得
 平成31年3月 特別港湾潜水技士 取得
 令和7年4月 白鳥建設工業株式会社 工事部課長
 現在に至る

令和6年度 全建賞 小樽港中央地区第3号ふ頭 クルーズ船岸壁等整備事業

小樽開発建設部 小樽港湾事務所

「小樽港中央地区第3号ふ頭クルーズ船岸壁等整備事業」が、令和6年度の「全建賞」を受賞しました。

小樽港で6万総トン級を超える大型クルーズ船の接岸可能な岸壁は、観光エリアから離れた勝納ふ頭岸壁のため、クルーズ旅客のアクセス対応に課題がありました。

このため、本事業により、観光エリアに隣接する第3号ふ頭岸壁を、大型クルーズ船対応岸壁に改良整備しました。また、港湾管理者である小樽市は、岸壁整備にあわせて第3号ふ頭周辺を再開発するとともに、「みなとオアシス小樽」として登録し、賑わい空間の創出を図りました。

本事業を進めるに当たっては、コスト縮減、早期供用を図るほか、第3号ふ頭周辺の賑わい空間創出のため、以下の点に取り組みました。

- ①既存施設の再編・有効活用を念頭に既存岸壁2バース（A部、B部）を1バースに改良するとともに、ドルフィン2基を整備することで、14万総トン級のクルーズ船の係留を可能としました。
- ②A部（重力式）は、事前混合処理土による土圧低減に加え、軟弱地盤対策として鉛直荷重低減のため上部工に梁構造を採用することで、既設ケーソンの有効活用を可能としました。
- ③B部（矢板式）は、裏埋材に水砕スラグを用いて土圧低減を図り、あわせて受働抵抗増加のため深層混合処理工法を採用することで、使用材料の規格を下げるとともに矢板根入れ長を短くし、コスト縮減と工期短縮を図りました。
- ④上部工へのプレキャスト部材の採用やICT技術の活用により作業の効率化を図り、全体工期を短縮しました。
- ⑤港湾管理者である小樽市は、国の岸壁改良整備に合わせて既存上屋をクルーズターミナルに改修し、出入国手続き等の効率化を図りました。また、民間と協働し、クルーズ交流やみなと観光を核にした賑わい空間を創出し、「港を巷に」をコンセプトに「みなとオアシス小樽」の構成施設の整備を進めています。代表施設となる「小樽国際インフォメーションセンター」は令和6年3月に完成し、多様なクルーズ観光需要に対応することが可能となりました。

このように、既存ストックを十分に活用してコスト縮減や工期短縮を実現したことや、施工時にICT技術等を活用し、作業の効率化及び品質向上に取り組んだ点などが評価され、「全建賞」の受賞となりました。

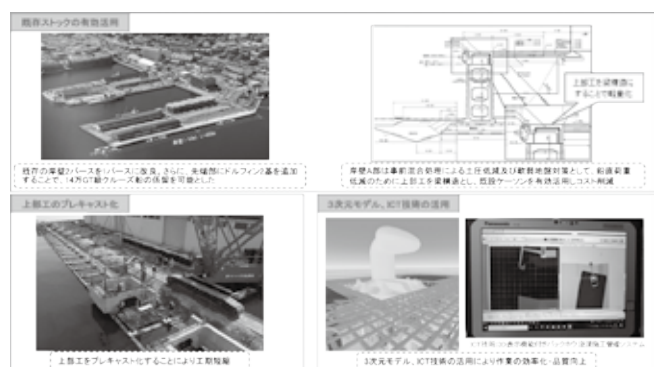
本事業完成後には、クルーズ船から徒歩で移動する旅客が増加し、第3号ふ頭周辺に、従来見られなかった賑わいが生まれており、今後も小樽周辺の観光振興と地域活性化に大きく寄与するものと期待されます。



小樽港クルーズ船岸壁全景



クルーズ船係留状況



我が社の安全衛生管理

白鳥建設工業株式会社 工事部部長 竹野 利史



1. はじめに



当社は、昭和2年（1927年）創業以来、まもなく100年を迎えようとしています。

この間港湾工事を中心に日本海特有の厳しい気象条件を克服してきた経験から、漁港漁場関係事業優良請負者として水産庁長官表彰を受賞、また、北海道開発局優良工事に選ばれるなど、高い技術と信頼で業績を伸ばしてまいりました。

各個人の「個性・積極性・自主性」を大切に、全社員一丸となって顧客の満足を得る構造物の造りこみ、やり遂げた工事に対し「自信・誇り・責任」を持ち信頼される企業として邁進しています。



2. 安全衛生基本方針



安全衛生方針

「労働災害の絶滅を目的に、施工と安全が一体化した安全衛生活動の定着を目指す」

安全目標

「労働災害・交通災害ゼロを達成する」

安全スローガン

「気持ちの余裕が現場の余裕！焦らず急がずゼロ災現場！！」

交通安全スローガン

「無事故へつながる！時間のゆとりと心の余裕！！」

目標達成のための行動計画

- ・ Webカメラを活用し遠隔監視
- ・ 送り出し教育の実施
- ・ KY活動で不安全行動を防止
- ・ 現場巡視活動で不安全状態・行動を防止
- ・ ヒヤリハット報告
- ・ 4S運動の実施
- ・ 熱中症対策の強化

- ・ アルコールチェック実施
- ・ 交通ヒヤリマップの周知



3. 安全衛生活動



（1）安全祈願

4月には安全祈願を留萌神社にて執り行い、その後職員全員でカツ丼をどんな困難にも勝つという願いを込めて頂きます。

（2）安全大会

5月には当社安全大会を実施しています。全社員と協力会社も参加して留萌労働基準監督署や留萌海上保安部による安全講和をして頂き、当社の今年度の安全目標を全員に周知し、最後に出席者全員で「頑張ろう！！」コールで気持ちを一つに無事故・無災害を誓います。



安全大会

（3）店社安全パトロール

毎月1回役職員の参加による現場パトロールを実施し現場での危険箇所や安全衛生管理における問題点をチェックシートを使用し点検します。

指摘事項がある場合には直ちに是正して毎月行う安全衛生委員会により水平展開し、安全衛生管理水準の向上を図ります。



店社安全パトロール

(4) 安全衛生委員会

本社安全衛生委員会メンバーにより、毎月開催し前月の安全衛生活動の報告、改善点や身近で起きた労働災害等について防止対策の策定を行い災害防止活動へ向けた検討を行っています。

また、各現場から集計したヒヤリハットに基づく迅速な対応を決定し、事故を未然に防止する対策を検討します。

(5) 全国安全週間・労働衛生週間

毎年7月と10月の安全週間と労働衛生週間には、役職員により安全意識の向上、労務者の健康管理や職場環境の改善を目的としパトロールを行っています。



全国安全週間 パトロール

(6) Webカメラによる遠隔監視

各現場や船舶・機械にWebカメラを設置し、パソコンやスマホからでも現場作業状況や安全対策など常に監視することができ、危険作業や危険個所があった場合は速やかに連絡し改善しています。



本社Webカメラモニター

(7) 交通安全

セーフティーラリー北海道に6チーム（1チーム3～5名）参加し、無事故・無違反に全社員努めています。

また、当本社前に潜水士モニュメントの通称ダイバーくんにより、交通事故防止を呼びかけています。



潜水士 ダイバーくん



4. 作業所安全衛生活動



作業所では、リスクアセスメントによる安全管理で月別安全衛生管理計画、日々作業特性に合ったリスクを洗い出し、高リスクな作業に対し低減策を設定、KY活動で安全衛生管理活動を実施しています。



KY活動

近年海中転落による死亡事故が多発しているため、作業所ではライフジャケット着用の徹底と海中転落救助訓練を行い、万が一の時でも速やかに対応できるよう訓練しています。



海中転落者救助訓練



5. その他取組



留萌地域ライフジャケット着用推進員として留萌海上保安部から認定され、釣場でのライフジャケット着用や安全啓発旗を掲揚し、安全に海を満喫するために！官民一体で海難事故防止の活動をしています。



6. むすびに



今後も当社および協力会社一丸となり、全社員力を合わせ！笑顔で！楽しみながら！良い仕事をし、安全作業で無事故・無災害を達成させ、人にやさしい海づくりができるよう日々努力してまいります。

私の趣味

「家庭菜園で育む 季節の恵み」

村井建設㈱ 代表取締役社長 村井 剛大

イチゴに支配されたビニールハウス

私の趣味のひとつは家庭菜園です。自宅の庭にはビニールハウスを設置しており、今年で6年目のシーズンを迎えました。春になると、まず雑草を取り除き、土を耕してから苦土石灰や肥料を混ぜて準備を整えます。毎年ゴールデンウィーク頃には、種や苗を買いに出かけるのが恒例行事です。育てる野菜の種類はその年の気分で変えていますが、ミニトマト、ししとう、ピーマン、枝豆、大根、ニラ、ブロッコリー、葉物野菜、いんげん、しそなど、私の好きな野菜を中心に育てています。

本来であれば、日々雑草を抜いてハウス内をきれいに保つべきなのでしょうが、出張で家を空けることも多いため、そこは割り切って「気が向いたときに雑草を抜き、気が向いたときに水をあげる」というスタイルです。緩い管理体制ながらも意外と収穫できるので、野菜の生命力には驚かされます。私は料理が得意ではないため、収穫した野菜の調理は妻にお願いしています。台所に野菜を置いておくと、妻が調理してくれるので、夕食の食卓には採れたての野菜が並びます。我が家には7歳と4歳の子供がいますが、まだ野菜はあまり得意ではないようです。私が大きな野菜を収穫して興奮しながら帰宅しても、子どもたちの反応は今ひとつ。ただ、娘が唯一収穫を喜ぶのが「イチゴ」です。

イチゴを育てたことがある方ならご存じかと思いますが、イチゴは繁殖力が非常に高く、どんどんエリアを広げて増えていきます。2020年頃に一度苗を

植えただけなのですが、越冬もするため、今ではハウスの約3分の1がイチゴ畑になっています。今年はずいぶんハウスの外にもエリアを広げてきました…。結局、いろいろな野菜を育てて収穫しても、子どもが一番喜ぶのは、ほぼ数年放置状態の「イチゴ」なのです！パパの一番重要な役割は、蟻に食べられる前に「綺麗で大きなイチゴ」を収穫し、食卓に並べることです。



霧の滑走路を駆け抜けて：釧路マラソンの非日常体験

もう一つの趣味はスポーツ全般です。高校・大学とハンドボール部に所属していましたが、大学時代に足首と肩を負傷してしまい、社会人になってからは一切プレーしていません。その代わりに、非接触で比較的 안전한スポーツとして、現在はマラソンとゴルフを楽しんでいます。

マラソンについては、20代の頃は道外のフルマラソンにも参加していましたが、現在は毎年釧路湿原マラソンの10km部門に出場しています。2025年は

釧路空港マラソン（種目：10km）に参加しました。この大会は釧路空港の滑走路および誘導路がコースとなっており、朝4：30にスタートします。滑走路を走れるなんて、めったにない機会！当日は釧路特有の深い霧が発生しており、視界不良の中でのマラソンとなりました。仕事でよく利用する釧路-丘珠便の飛行機であれば着陸困難になるような濃霧でしたが、この日はマラソン大会。気温も低く、ランナーとしてはコンディション最高！思い出深い大会となりました。



大谷翔平だけじゃない！MLBの“裏側”を楽しむ方法

大谷選手や鈴木選手など、日本人選手の活躍で日本でも人気のMLB。私も大谷選手の大ファンですが、観戦以外で毎年楽しみにしているのが、7月下旬の「トレード市場」です。プレーオフを目指すチームは弱点を補うために選手を補強し、プレーオフ進出を諦めたチームや再建中のチームは戦力を放出して、将来の主力となる若手有望選手（トッププロスペクト）を獲得します。NPBでもトレードはありますが、MLBのトレード市場は「え？嘘でしょ？」というようなダイナミックな動きが頻発します。各球団のフロントの采配がチームの将来を左右する！重要なデッドラインが、アメリカ時間の7月31日で

す。10月のプレーオフではなく、この季節に興奮しているのは私だけ？また、野球のプレーを統計学的に分析する「セイバーメトリクス」という考え方も面白い！詳しくは映画『マネーボール』をご覧くださいできればと思います。

最後は少しマニアックな趣味の紹介になってしまいましたが、2024年6月に代表取締役社長に就任してから、早くも1年が経過しました。引き続き、皆様からのご指導を賜りながら、精進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

$R_{H1/2}/H_0'$

b/H_0'

全旋回式起重機船兼浚渫船（押航式） 「FT400」建造

株式会社不動テトラ

1. 概 要

株式会社不動テトラ（東京都 奥田慎也代表取締役社長）は、令和7年3月400t吊全旋回式起重機船兼浚渫船（押航式）「FT400」を建造しました（図-1）。

本船はDPS（自動船位保持システム）機能やICT施工システムなどを装備しており、安全で高精度な海上オペレーションが実現可能となっています。また、船内はWi-Fi環境を整備するなど魅力的で働きやすい労働環境に配慮した仕様となっています。

船体寸法は長さ68.5m×幅25m、カーゴスペースは長さ30.5m×幅22.5m、押船エンジンは1,138馬力×2基を有しています。



図-1 FT400全景

2. 特 徴

(1) DPS（自動船位保持システム）

DPSは潮流、風、波などの外力を受ける船体の状態を、動揺センサ・方位センサ・GNSSなどから得た情報をもとに4基の電動ポンプジェットスラスタを制御し、洋上の定点に自動で船位保持する装置およびシステムです（図-2参照）。



図-2 DPS

(2) AI航行支援システム

本システムは、カメラが撮影した画像とレーダーが捕捉したデータからシステムが物体を認識し、画像認識AIが捕捉対象を船舶かどうか、またその船種を識別します。他船舶の接近や危険エリアを視覚的に表示しアラーム音にて注意喚起する機能も有しています（図-3参照）。

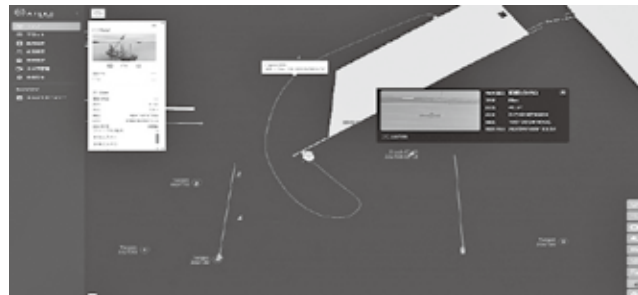


図-3 システム画面

(3) ICT施工支援システム

ICT施工支援システムはマルチビームソナーを活用したシステムであり、リアルタイムな作業進捗や出来形計測が可能です。港湾工事における浚渫工事など様々な工種に対応しています（図-4 参照）。

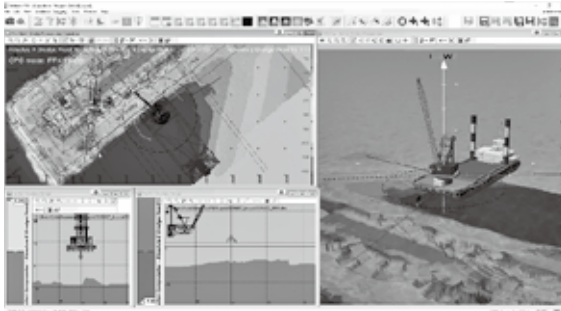


図-4 ICT施工支援システム画面例

(4) 蓄電システム

本システムは発電機稼働中に発生する余剰電力を蓄電し、夜間および停泊時の必要電力（居住区設備など）を72時間にわたり供給できます。また、DPSが稼働中の電力負荷が高い作業時でもインバータ制御で電力負荷を軽減し、発電機の容量不足分をアシストするハイブリッド高効率電力制御システムです。

蓄電システムの運転状態は発電量、放电量および充電量を蓄電システムモニター画面にてリアルタイムで確認できます（図-5 参照）。



図-5 蓄電システムモニター画面

(5) 陸上電力供給

停泊時には港湾施設にある陸上電力供給設備からの受電が可能です。停泊時の船舶の発電機使用頻度を減らすことで、CO₂排出量を削減します。

また、船側から外部への電力供給も可能となっています。

(6) 女性専用室

本船は女性技術者や女性船員が乗船する際に備えて、女性が過ごしやすい環境に配慮するとともに女性専用室を整備しました（図-6 参照）。女性専用室にはドラム式洗濯乾燥機を設置するとともに、女性専用の浴室とトイレも設置しています。



図-6 女性専用室

(7) リラクゼーションルーム（サウナ室）

本船にはリラクゼーションルームとして船員の心身のリフレッシュを目的に1人用のサウナ室を設置しています（図-7 参照）。

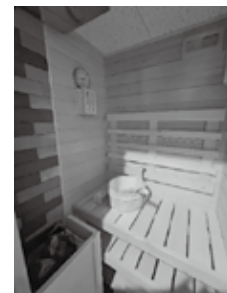


図-7 サウナ室

(8) 災害時避難場所

本船は南海トラフ地震や首都直下地震など今後予想される大規模災害時に備え、効果的な被災地支援が可能な災害時避難場所（100m²）を船倉に整備しています（図-8 参照）。Wi-Fi環境、エアコン、冷蔵庫、パイプベッドを配備し、毛布、保存食、飲料水などを備蓄しています。



図-8 災害時避難場所

◎事務局だより◎

◎お詫び

前号（114号 5月発刊）における令和6年度 港湾空港工事報告会に関する記事について発表者と異なる写真を掲載致しました。お詫びするとともに正しい発表者の写真を掲載致します。

掲載箇所：114号 p8

掲載内容：発表者写真（株式会社 濱谷建設 工事部担当次長 清水大輔氏）



◎行 事

1. 第42回 日本港湾空港建設協会連合会総会

月日：令和7年5月14日

場所：東京都

2. 第113回 日本港湾空港建設協会連合会セミナー

月日：令和7年6月12日

場所：高知市

3. 第1回 広報委員会

月日：令和7年7月9日

場所：札幌ガーデンパレス

内容：令和7年度 広報紙発刊計画ほか

4. 第1回 技術委員会

月日：令和7年7月14日

場所：札幌ガーデンパレス

内容：令和7年度

技術委員会活動方針（案）について他

5. 令和7年「海の日」海事関係功労者大臣表彰及び 令和7年度北海道開発局港湾空港関係功労者表彰祝賀会

月日：令和7年7月28日

場所：札幌ガーデンパレス

◎業界だより◎

◎会員代表者の交代

●白崎建設株式会社

代表取締役社長 白崎 喬大^{たかひろ} 令和7年7月

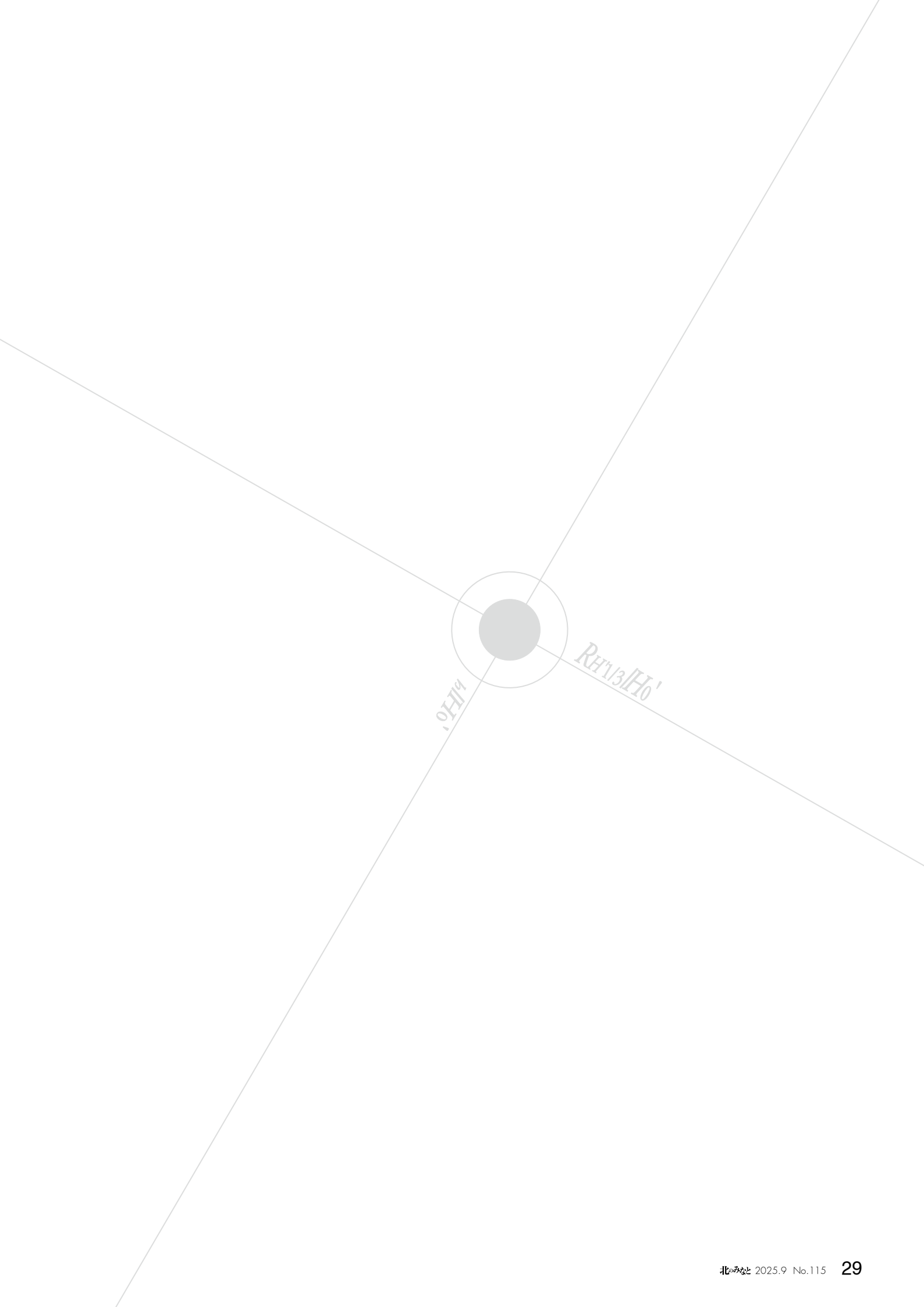
◎広報委員会だより◎

令和7年8月現在の広報委員は以下のとおりです。

委員長	小林 孝 範	東亜建設工業(株)
副委員長	古田 圭 也	東洋建設(株)
(部会長)	宮 部 秀 一	(株)菅原組
(副部会長)	上 野 強	釧石工業(株)
	阿 部 勝	五洋建設(株)
	高 橋 啓 司	あおみ建設(株)
	今 林 弘	菱中建設(株)
	岡 元 節 雄	(株)不動テトラ
	小 玉 茂 義	東亜建設工業(株)
	相 馬 洋	近藤工業(株)
	高 木 哲 夫	萩原建設工業(株)
	千 葉 不 二 夫	勇建設(株)

* 広報委員会からのお願い

1. 新造船（機械・装置含む）の紹介
2. 注目される工事の着工、完成
3. 工事現場の紹介
4. 各地域の技術研究会・イメージアップ事業等のご投稿をお待ちしております。



$H1/9$

$RH1/3/H0'$



飼料運搬船入港状況



定期コンテナ船



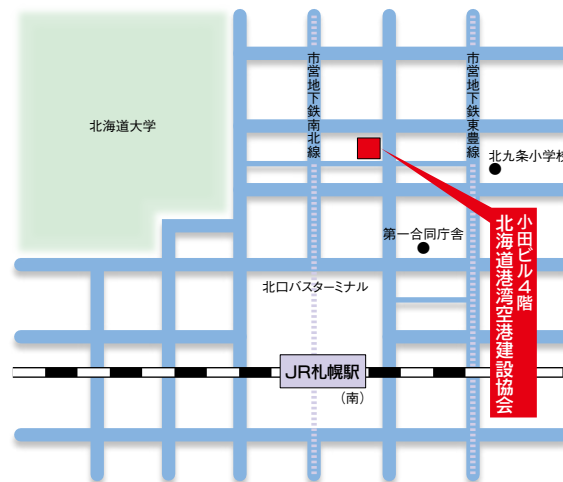
コンテナ積み込み状況



リーチスタッカー

(写真提供 釧路港湾事務所)

北海道港湾空港建設協会 案内図



会報「北のみなと」No.115

発行年月 令和7年9月
 発行 北海道港湾空港建設協会 会長 藤田 幸洋
 札幌市北区北9条西3丁目10-1 (小田ビル4階)
 TEL(011)707-4731 FAX(011)707-4733
<https://www.hokkaido-kkk.jp>
 Email:hkkk@h4.dion.ne.jp
 編集 北海道港湾空港建設協会 広報委員会
 編集責任者 宮部 秀一
 印刷 (株)須田製版